

連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業収益 Point 1	729,802	789,131
営業原価	717,675	740,377
営業総利益	12,126	48,754
販売費及び一般管理費	25,014	25,319
営業利益又は営業損失(△) Point 2	△12,887	23,435
営業外収益	1,279	1,222
営業外費用	992	1,900
経常利益又は経常損失(△)	△12,600	22,756
特別利益	141	40
特別損失	1,010	1,069
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△13,469	21,727
法人税等	△1,537	11,597
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,931	10,130
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	148
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) Point 3	△12,087	9,981

ポイント解説

Point 1

営業収益は、デリバリー事業の構造改革を推進したことにより、宅急便取扱数量は減少したものの、宅急便単価が上昇したことなどにより、前年同期に比べ8.1%増加し、7,891億31百万円となりました。

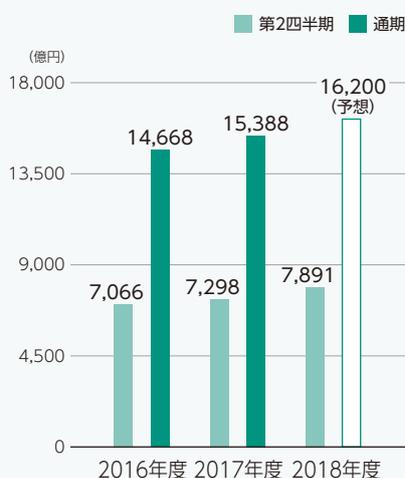
Point 2

営業利益は、体制強化を進めたことなどにより営業費用は増加したものの、営業収益がそれ以上に増加したことなどから、前年同期に比べ363億23百万円増加の234億35百万円となりました。なお、ヤマトホームコンビニエンス株式会社が法人のお客様の社員向けに提供している引越サービスにおいて不適切な請求があったため、調査結果を踏まえた見積り影響額31億4百万円を、連結業績に織り込んでいます。

Point 3

親会社株主に帰属する四半期純利益は、99億81百万円となりました。

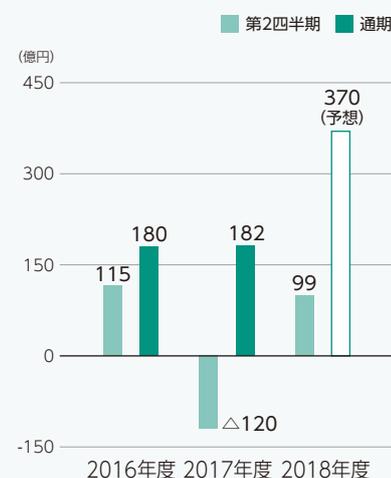
営業収益



営業利益(損失)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(損失)



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2018年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2018年9月30日
[資産の部]		
流動資産	559,635	541,395
固定資産	555,235	561,476
有形固定資産	405,057	409,254
無形固定資産	20,131	19,407
投資その他の資産	130,045	132,814
資産合計 Point ①	1,114,870	1,102,872
[負債の部]		
流動負債	395,035	391,484
固定負債	162,247	147,867
負債合計 Point ②	557,283	539,351
[純資産の部]		
株主資本	541,821	546,280
その他の包括利益累計額	8,486	9,598
非支配株主持分	7,279	7,640
純資産合計 Point ③	557,586	563,520
負債純資産合計	1,114,870	1,102,872

※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

ポイント解説

Point ①

資産合計は、車両購入や物流ターミナルの新設(流山ベース)などにより有形固定資産が増加した一方で、借入金返済のため現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ119億98百万円減少し、1兆1,028億72百万円となりました。

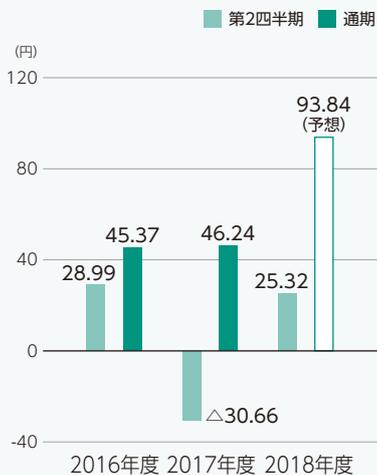
Point ②

負債合計は、グループ資金を活用したことで借入金が257億11百万円減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ179億31百万円減少し、5,393億51百万円となりました。

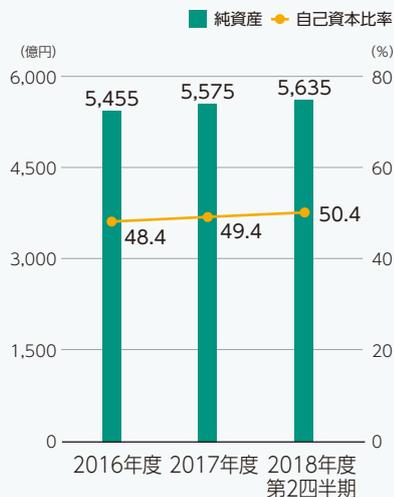
Point ③

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益が99億81百万円となったこと、および剰余金の配当の実施などにより、前連結会計年度に比べ59億33百万円増加し、5,635億20百万円となりました。

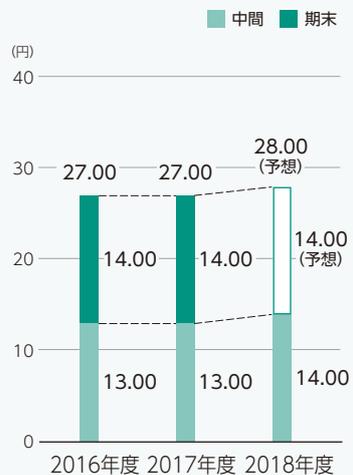
1株当たり四半期(当期)純利益(損失)



純資産/自己資本比率



1株当たり配当金



連結財務諸表(要旨)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	△11,278	45,305
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△21,531	△30,205
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△22,800	△32,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,658	△17,792
現金及び現金同等物の期首残高	228,926	202,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	173,268	185,070

ポイント解説

Point 1

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が増加したことなどにより、前年同期に比べ収支が565億84百万円増加し、453億5百万円の収入となりました。

Point 2

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同期に比べ支出が86億74百万円増加し、302億5百万円の支出となりました。

Point 3

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金を返済したことなどにより、前年同期に比べ支出が97億85百万円増加し、325億86百万円の支出となりました。

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

検索

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー □ 財務活動によるキャッシュ・フロー ◆ フリー・キャッシュ・フロー

